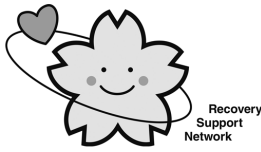


ぱちんこ依存問題相談機関 認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク
ぱちんこ依存問題相談機関からのメッセージ



さくら通信

93号

さくら通信とは… 小さなつぼみに過ぎない私たちの活動が、桜前線のように南の島沖縄から日本中に回復支援の輪となって広がり、これらを必要とする人たちに届くことを願って名づけました。

明けましておめでとうございます。昨年は、消費税の引上げ、IR推進法の国会審議の動き、年の瀬の選挙(沖縄は基地問題に揺れた知事選がありました)、一足早い寒波の襲来など、年末ぎりぎりまで落ち着かない一年であったような気がします。遊技人口は1千万人を割り込み、遊技業界にはカジノ議論の影響を受けて厳しい目が世論から向けられる年でもありました。RSNの相談電話件数は、2013年度より300件ほど減少したものの、2年続けて3,000件を超えました。社会全体の視点からは、パチンコユーザーが減少しているために、問題ある遊技参加者の絶対数も減少している、つまり国内のパチンコ依存問題は縮小していると推測できます。しかし、参加母数が多いだけに、依然として数十万人の問題ある遊技参加者が存在し、パチンコホールにおける問題ある遊技参加者の比率はむしろ上昇しているのではないかと考えられます。また、問題を抱えて遊技から離れた人たちは、遊技を止めた後もその負の債務の解消に大きな労力と長い時間を費やすこととなります。問題がホールの中から消えても、地域社会の中からすぐに消えることはありません。地域と共存する娯楽であるためには避けては通れない課題です。健全で安全な娯楽の実現に向けて、RSNは本年も微力ながら取り組んで参ります。昨年に引き続き、私たちの活動へのご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

- P1.....RSN News
- P2.....RSN月次データ報告
- P3.....相談電話の向こうから(その17)
- P4.....情報掲示板

RSN News

【活動報告】

「ケアする人のケアセミナー in 沖縄」 開催報告(2014/12/20・21)

2014年12月20・21日の2日間に渡って、「ケアする人のケアセミナー in 沖縄」が、沖縄県宜野湾市で開催されました(主催:一般財団法人たんぼぼの家、住友生命福祉文化財団)。RSNは、現地事務局を務めました。年末にも関わらず、介護・援助関係の方々を中心に延べ200人近い参加がありました。沖縄ダルクをはじめ、開催・実行に協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。



扇屋商事株式会社にて依存問題についての社員研修講師(2014/12/3)

宮城県下でホールを運営する扇屋商事株式会社の社員研修「依存問題研修講座」(第8回)を扇屋商事にて行いました。今回の研修で、管理職からホールスタッフまで全ラインの職員に研修を受けていただけました。3月には、新人研修を行う予定です。従業員研修プログラム開発の試行錯誤は、まだ続きます。

国立病院機構 琉球病院アルコール・薬物 専門病棟開設15周年記念式典出席 (2014/12/13)

2014年12月13日に独立行政法人国立病院機構琉球病院にてアルコール・薬物専門病棟開設15周年記念式典が開かれ、RSN代表西村が出席しました。

【視察・来訪】

全国遊技機商業協同組合連合会(全遊商) 視察来所(2014/12/15)

2014年12月15日に全国遊技機商業協同組合連合会(全遊商)、テスネットの11名が視察のため来訪されました。RSNの活動、今後の依存問題についての啓発活動について意見交換を行いました。



【イベント告知】

2015年2月4・5日の2日間「依存の問題を持つ方を支援するセミナー」(主催:ワーカーズホーム、RSN開催協力)を、沖縄県宜野湾市で開催します。

ぱちんこ依存の相談は **050-3541-6420** 月～金 10時～16時(土日祝祭日除く)

※さくら通信は、「AJOSC」「夢屋基金」の助成、会費、寄付金などにより発行・配布を行っています。

2014年12月の電話相談のデータ報告

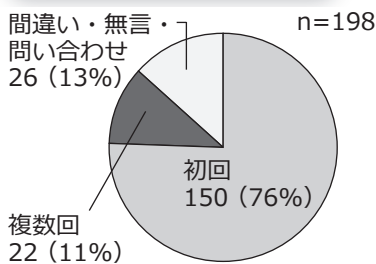
12月の相談件数は198件で、前月より44件の減少でした。相談件数の減少は、相談日数が例月より少なかったことや、大型の寒波や積雪による影響を受けたのではないかと推測しています。またボーナスの支給などの臨時収入によって経済的な問題が一時的に緩和されることで、問題への危機感が一時的に薄れたのかもしれませんが。気持ちだけでも温かく正月が迎えられたのであればよいのですが…。

2014年は年間を通じて相談件数に大きな変動はなく、比較的安定した状態が続きました。年間相談件数は3,077件となり、開設からの相談件数は14,804件となりました。現在、年間相談データ報告書作成のためデータ集計と分析を行っております。皆さまのお手元には4月頃にはお届けできるよう作業を進めています。

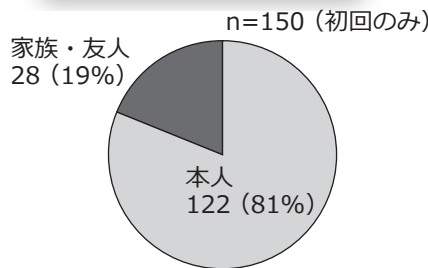
2014年12月1日～2014年12月31日 相談件数 198件

2014年1月1日～2014年12月31日 2014年累計 3,077件 開設からの総件数(2006年4月～) 14,804件

① 相談回数



② コーラー関係性



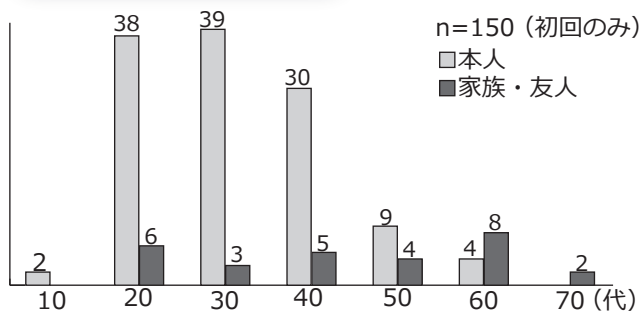
③ 性別

本人 n=122 (初回のみ)	
男性	女性
96 (79%)	26 (21%)

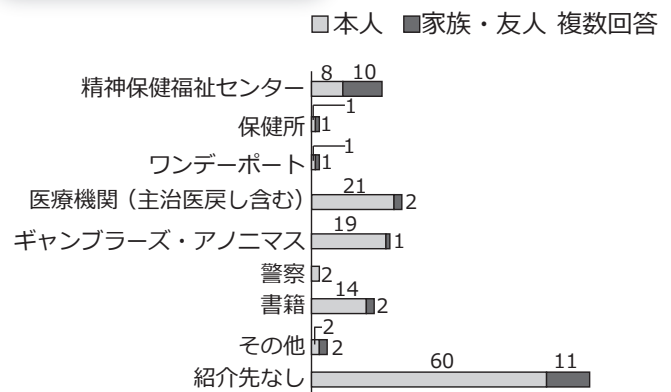
家族・友人 n=28 (初回のみ)	
男性	女性
5 (18%)	23 (82%)

- 相談回数**…初回相談150件(76%、前月比-37件)、複数回22件(11%、同±0件)、間違い・無言・問合せ26件(13%、同-7件)でした。相談実数が減少するなか、複数回相談には変化がありませんでした。
- コーラー関係性**…初回相談の内訳は、本人122件(81%、前月比-16件)、家族・友人28件(19%、同-21件)でした。家族・友人からの相談減少が目立ちます。
- 性別**…本人性別の内訳は、男性96件(79%、前月比-7件)、女性26件(21%、同-9件)、家族・友人性別は、男性5件(18%、同-6件)、女性23件(82%、同-15件)でした。

④ コーラーの年齢



⑤ 紹介先



⑥ 経路

	本人	家族・友人	合計
ホール内ポスター	59	5	64
新聞	0	2	2
インターネット	40	12	52
TV	1	0	1
雑誌	3	1	4
他の相談機関	1	3	4
ホール貼付ステッカー	3	1	4
その他	11	4	15
不明・拒否	4	0	4
総計	122	28	150

- コーラー年齢**…コーラー年齢分布を見ると本人、家族・友人ともに30代からの相談減少が大きく、前月より本人-8件、家族・友人-16件でした。その他の各年齢層に於いては緩やかな変化に留まりました。
- 紹介先**…相談者のなかには、ホールに対する強い不信任を抱かれる方もおられます。そのような方には警察や遊技組合が運営しているインターネットサイトを紹介する場合があります。
- 経路**…その他を経由した相談の内訳では、家族や友人からRSNに相談するよう促されて相談につながるケースがあります。多くはないですが、問題を抱える方の周囲の方にもRSNの情報が届いているようです。

相談電話の向こうから（その17）

RSN 電話相談には年明け早々から多くの相談が寄せられています。ボーナスによる臨時収入や年末年始の大型連休など“お金と時間”が充実するこの時期は、問題を抱える方に限らず、適度に遊技できている方にとってもリスクが高まるようです。「つい羽目をはずしてしまい、いつもより多くの金額を消費してしまった」「余暇を上手に過ごすことが出来ず、毎日ホールで過ごしてしまった」といった相談が寄せられるのがこの時期の特徴です。日頃の自分と違う一面を垣間見たことで心配になり、相談につながる方もおられます。今回の事例は年末から年始に寄せられた特徴的な事例を紹介します。ここで紹介したケースは、相談者が特定できないよう一部加工してあります。

ケース 「年末年始に過度な遊技をされたケース」

相談者：Aさん 30代 男性（本人）

長年、パチンコと親しんできたAさん。20代の頃は少々度が過ぎる遊技をした時期もあったが、年齢を重ね社会経験を積んだことで、お金の大事さ、パチンコは遊びであり儲かるものではないことを自覚し、今は遊びとして割り切って付き合っている。日頃は休日に利用する程度で、お金を使い過ぎることも時にはあるが生活への影響は全くない。ところが、この年末年始の大型連休は、毎日ホールに行き、ボーナスの大半をパチンコに使ってしまった。正月気分もあったとはいえ、いつもの行動と違う自分に驚いてRSNに電話した。仕事が始まってからは自分で意識してパチンコに行かないように気を付け、休日もパチンコ以外のことで余暇を過ごしている。一方で負けを少しでも取り戻したいという気持ちもあり、以前の自分とは違う考えが頭をよぎるようになっている。パチンコに対しての依存傾向があるのかと思い心配になっている。

相談者：Bさん 60代 女性（本人）

最近パチンコを始めたBさん。パチンコは夫に教えてもらった。60歳を過ぎて退職し暇な時間が増えたので、暇つぶし程度に遊技するようになった。ホールへはいつも夫と一緒にいく。週に1回程度、1時間～2時間遊んで帰るのがこれまでの遊技頻度。大当たりしているときは少し長めに遊技することもあるが、長い時間座っていると身体が疲れるのであまり長居はしない。しかし最近はパチンコに行きたい気持ちが強くなり、心配になってきた。たまに一人で行くこともある。年末は、時間があつたので頻繁に行ってしまった。年が明けてからも続けてホールに行くようになり、回数が増えた分だけ消費金額も増えた。少しパチンコに行きすぎかと思い心配になりRSNに電話した。

◎相談員の感じること



長期休暇とボーナスによる臨時収入が重なる年末年始の時期は、パチンコユーザーにとってはリスクが高まる時期です。問題を抱えている方はもとより、日頃、適度に遊技されている方でさえ、遊技環境が揃うと年齢や性別に関係なく一時的にコントロールが効かなくなることがあります。Aさん・Bさん共に日頃は適度に遊技できているコントロールユーザーですが、この年末年始はいつもと違った自分自身の行動や考えに気づき心配になりRSNへ相談されました。パチンコに限った問題ではないですが、年末年始は少々羽目を外しても許されるという気持ちはどなたでもお持ちではないでしょうか？必ずしも一時的なコントロール喪失が今後の大きな問題につながるわけではありませんが、AさんBさん共に今回の出来事に問題を感じ、自分の行動を見直し、パチンコとのつきあい方を改めて、セルフコントロールに取り

組んでいます。問題を深刻化させないために自ら一歩踏みとどまり、行動を見直し、修正することはとても大切です。AさんやBさんのようにユーザー自身が“自分には冷静に遊技出来ないことがある”ということを知覚することだけでも遊技とのつきあい方は、安全な方向に変化します。自分の遊び方で感じた不安を、RSNのような相談機関や理解ある第三者に話すことも行動修正に役立つことが知られています。のめり込み問題に関して遊技を提供する側の啓発活動も重要ですが、ユーザーもまた自分自身を守るために、適度に遊ぶというスキルを学ぶことはとても大切なことです。ひと時の非現実を少しの時間だけ、決めた金額で楽しむ程度が丁度よいのではないのでしょうか。勝ちや負けだけを追えば娯楽ではなくなります。

今年も多くの事例に出会う機会がありそうです。試行錯誤を繰り返しながらの対応は続きますが、今年もよろしくお願い申し上げます。

情報掲示板

家族教室 / 相談

都道府県	名称	日程	時間	主催	問合せ先
宮崎県	依存症専門診療相談	毎月第1・3月曜日	午後	宮崎県精神保健福祉センター	0985-27-5663
	ギャンブル依存症者の家族のつどい	毎月第1木曜日	13:30～15:30		
熊本県	依存症家族ミーティング	毎月第3金曜日	13:30～15:30	熊本県精神保健福祉センター	096-386-1166
佐賀県	ギャンブル依存症・家族教室	毎月第4火曜日	14:00～16:00	佐賀県精神保健福祉センター	0952-73-5060
長崎県	家族教室・家族のつどい	要問合せ		長崎こども・女性・障害者支援センター	095-846-5115
山口県	ギャンブル依存症の家族相談	まずは電話相談をご利用下さい		山口県精神保健福祉センター	0835-27-3388
鳥取県	ギャンブル依存症やその対応についての相談	月～金	8:30～17:15	鳥取県立精神保健福祉センター	0857-21-3031
島根県	病的ギャンブリング相談	要問合せ		島根県立心と体の相談センター	0852-21-2885
愛媛県	依存症に関する相談	月～金	8:30～17:15	愛媛県心と体の健康センター	089-911-3880
高知県	家族支援プログラム	毎月第1月曜日	要問合せ	高知県立精神保健福祉センター	088-821-4966
滋賀県	アディクションセミナー	奇数月第3木曜日	13:30～16:30	滋賀県立精神保健福祉センター	077-567-5010
	家族交流会	偶数月第3月曜日	10:00～12:00		
三重県	依存症問題家族教室	偶数月の金曜日	14:00～16:00	三重県こころの健康センター	059-223-5243
福井県	依存症を考えるセミナー	毎月第1水曜日	10:00～12:00	福井県精神保健福祉センター	0776-24-5135
石川県	依存症教室	要問合せ	10:00～12:00	石川県こころの健康センター	076-238-5750
長野県	依存症家族グループミーティング	毎月第2・4木曜日	13:30～15:30	長野県精神保健福祉センター	026-227-1810
神奈川県	家族個別相談	毎週金曜日/要予約	10:30～15:00	認定NPO法人ワンデーポート	045-303-2621
	依存症電話相談	毎週月曜日	13:30～16:30	神奈川県精神保健福祉センター	045-821-6937
	薬物・ギャンブル問題家族セミナー	毎月第4火曜日	14:00～16:00	川崎市精神保健福祉センター	044-201-3242
東京都	家族教室	第1火曜日及び第3・4火曜日	13:00～15:00	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	042-371-5560
	アルコール・ギャンブル依存症問題でお困りの方へ	毎回金曜日	10:00～12:00	東京都立中部総合精神保健福祉センター	03-3302-7711
	ギャンブル家族教育プログラム	毎月第3金曜日	14:00～16:00	雷門メンタルクリニック	03-5828-3841
埼玉県	ギャンブル依存症の相談	月～金	9:00～17:00	さいたま市こころの健康センター	048-851-5665
山形県	依存症相談会	3月18日(水)	要予約	山形県精神保健福祉センター	023-624-1217
北海道	ギャンブル研究会	毎月第2・4火曜日	18:30～20:00	北海道立精神保健福祉センター	011-864-7000

セミナー等

都道府県	名称	日程	時間	主催	問合せ先
沖縄県	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会in沖縄	2月21日(土)	10:00～12:00	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(沖縄勉強会)	098-871-9671 (RSN)
	参加費 500円 事前申し込み必要(依存の問題を持つ本人と家族は参加できません)				
神奈川県	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(横浜勉強会)	2月 1日(日)	13:30～16:00	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(横浜勉強会)	048-796-7630 浦和まはろ相談室
	参加費 1,000円 事前申し込み必要(依存の問題を持つ本人と家族向けではありません)				

ぱちんこ依存問題で困っていませんか? ☎050-3541-6420 月～金 10時～16時(土日祝祭日除く)

さくら通信 第93号 月間 2015年1月22日発行

発行所:認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原103ルボワYARA2F

電話&FAX: 098-871-9671(事務専用回線) Email: recovery-support-net@theia.ocn.ne.jp http://rsn-sakura.jp

お問い合わせや確認のお電話は、事務用回線をお使い下さい。